

市長への手紙

■問合せ先〓総務課広報広聴係（☎22・3101）

これまでにご寄せられた手紙の一部を、市の回答とともに要約してお知らせします。このほかに寄せられたものは、市本庁舎や各支所などに設置している閲覧簿、または市ホームページでご覧いただけます。

新しい図書館をつくる機会に図書館施策のさらなる充実を期待したい

新しい図書館をつくる機会に、図書館施策のさらなる充実を期待します。

内容 図書館は本を貸し出すだけでなく、調べることの助けや、情報や資料の収集、記録を次世代に伝えることも大切な役割だと思います。それは、じゅうぶんな人数の意欲的な専門職員がいなければできないことだと思います。建物を新しくして本を揃えれば完了ではなく、常に一定量が新しい資料に入れ替わっていくかなければ魅力ある図書館にはなりません。

回答 本市では、「人が行き交い、賑わいあふれるまちづくり」を牽引する核として、図書館を含む新発田駅前複合施設の平成28年の開館をめざしています。基本設計では、ワーク

ショップや意見提案箱の設置、高校生へのアンケートなどにより皆さんのご意見を反映してきました。さらには、図書館職員や関係課職員、各分野の専門家の意見を聞きながら、図書館サービスの質を向上させるための運営体制などについて検討しています。皆さんのご意見を反映しながら、図書館施策のさらなる充実と魅力ある図書館の実現に努めていきたいと考えています。（4月8日回答）

市役所の新庁舎は「城下町」をPRできる建物にしてはどうか

内容 城下町や堀部安兵衛でまちおこしをしているのに、新庁舎はなぜ近代的な建物なのですか。新発田駅や駅前交番のように「城下町」をPRする和風の建物が市の中心部にあると、観光客や市民にもっと愛されるものになると思います。

回答 市では、新発田城や清水園などの歴史景観を活かしたまちづくりを進めています。景観条例や景観計画では、市内を「歴史景観エリア」や「駅前大通り景観エリア」などに分けて、それぞれのエリアに合った良好な景観を形成するため

の基本方針などを定めています。新庁舎の建設地は「駅前大通り景観エリア」に位置し、このエリアの基本方針である「市の顔として、また、中心商業地として、城下町の歴史を感じさせるとともに賑わいある街なみを創出する」に基づいて設計しました。江戸時代から引き継がれる地割や商店街の建物の高さといった歴史的・文化的な景観を継承するとともに、商店街の賑わいある街なみを演出するため、ガラスを多く使った明るいデザインにしています。平成29年の開庁に向けて、皆さんから親しまれ、愛される庁舎になるよう努めていきます。（5月7日回答）



▲新庁舎の完成イメージ

「枝豆」を観光産業の基幹にしてはどうか

内容 新発田の活気を取り戻すアイデアとして、「枝豆の故郷」というのはどうでしょうか。枝豆の栄養素は広く世界でも認められてきています。「枝豆のまち」として農家の方が年中枝豆をつくり、観光産業の基幹としてはいかがでしょうか。

回答 本市には、新発田発祥の枝豆として、加治川地区で昔から栽培されてきた在来品種「大峰かおり」があります。大粒で香りと食味がよいこの枝豆を東京都の高級スーパーで販売したところ、非常に好評でした。栽培が難しい品種のため、まだ少量の生産に留まっていますが、将来的には、アスパラガスやイチゴ「越後姫」などと並ぶ新発田の特産となるよう、今後とも努力していきます。（6月13日回答）